

閉会挨拶

海事センター理事長の平垣内でございます。

先ず始めに、本日大変お忙しいところセミナーに登壇頂きました先生方、業界のリーダーの方に心より御礼申し上げます。どうもありがとうございました。

まさに混迷の時代です。毎日朝の連ドラで流れるだんだん世界が悪くなるという歌詞が耳に残ります。ただ、うまく帆を張ってこういった強い風を受ける事ができれば新たな取り組みや改革が進むのも事実です。今回の造船の大規模な新たな予算措置もそうです。こういった厳しい時代に危機をチャンスに変えるために、海事産業として求められるのは2つのポイントかと思います。

一つは、産官学の連携でアンテナを高くして叡智を絞って対応するという事ではないでしょうか。本日のセミナーはまさに産官学の方が揃い踏みされています。二つ目は、海事産業は長い歴史があり、海事産業といっても、外航、内航、造船、船用工業、港湾や海洋などに分かれておりますが、これも連携して総合的に考える必要があるのではないのでしょうか？

当海事センターとしては、これらの連携の事務局的な役割を果たしたいと思っております。

また、当海事センターは、今までは、どちらかというところ、これら海事産業の関係者であるプロ向けにアウトプットを提供して参りました。今後海事産業の発展のためには、広く国民のご理解が必要であるため、本日のセミナーのような一般向けの情報発信も充実して参りたいと考えておりますので、引き続きどうぞよろしくお願い致します。

本日は、お忙しいなか多数ご参加頂きありがとうございました。